

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102 - 281	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 702 書 I 703	書 I 書 I プライマリーブック		

1. 編修の基本方針

高校生の素朴な疑問に応える学びを

本教科書は、「教育基本法」に示された教育の目標と高等学校学習指導要領に示されている内容に基づき、表現と鑑賞が相互に関連しながら、基礎的な学習が系統的・段階的に進められるよう、次の点に配慮して編修しました。

1. 基礎・基本的な書に関する知識・技能の習得と、確実な定着を図る。

書写から書道への導入や、古典に基づく学習の意義など、書の学習の基本となる内容を確実に習得することで、土台となる知識と教養を身につけ、生涯にわたって書を愛好する心情を育てることを主眼に、学習内容の精選と資料の拡充を図りました。

2. 表現と鑑賞の両面から、書の伝統と文化について理解を深める。

表現と鑑賞の両面から学習を深め、書に関する見方・考え方を養うことができるよう、二分冊による編修を行いました。『書 I』では、「見る・感じる・知る 書」をテーマに、さまざまな古典や近現代の書を見て楽しんだり、知識を得てじっくりと味わったり、歴史や周辺文化について理解を深めるなど、おもに書の鑑賞をとおして、伝統と文化を幅広く深く理解することができるように配慮しました。また、『書 I プライマリーブック』では、古典に基づく表現の学習の基礎・基本が確実に身につくよう、高校生が学習するのに適した古典の選択と、鮮明で大きな図版を豊富に掲載しました。

3. 芸術の学習をとおして思考力・判断力・表現力を養う。

学習者が主体的に学ぶ力を養うことができるよう、段階的に学習材を配列しています。

芸術は、表現・鑑賞いずれの場合においても、思考する活動が土台となるため、初歩の段階から意識を高めていく必要があります。また、相手や目的、意図、場面などに応じて互いの意見や立場を尊重することや、課題解決に向けて協力したり助言し合う活動などをとおして、コミュニケーション能力を育成することを目指しました。

4. 身の回りの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成する。

書は言葉を書くことで成立する表現であることから、古典だけではなく、生活の中で見られるさまざまな書を学習材にすることで、言葉や文字そのものへの関心を引き出し、伝達手段としての表現感覚を養うだけでなく、目的、場面などに応じた表現の仕方や、毛筆の持つ魅力や意義、効果などについて考え、情報社会の中で効果的に活用する力が身につくことを目指しました。

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
書 I 書 I プライマリーブック 書 I 書 I プライマリーブック	目次 目次 書へのいざない 漢字と仮名で表す言葉を書く 書道の基本 書写から書道へ 古典に基づく学習	○幅広い知識と教養を身につけるために、書道の学習の基盤となる中学校国語科書写で学習した知識や技能の確認と、芸術科書道への導入となる教材を示しました。[第1号] ○自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために、限りある資源を素材とした書道の用具・用材を大切に扱うことや、環境に配慮した片付けの方法を学べるように配慮しました。[第4号] ○日本国内の筆・墨・硯・紙のおもな産地や作り方を紹介することで、伝統と文化を尊重する態度を養えるように配慮しました。[第5号]	p.002-003 表2 p.004-007 p.2-5
書 I	鑑賞へのいざない 書は「見る」ものか「読む」ものか 私と書とのこれから	○作品を鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]	p.008 p.088
書 I プライマリーブック 書 I	漢字の書 さまざまな楷書古典 古典を鑑賞する さまざまな行書古典 真草千字文 曹全碑 泰山刻石 自分を表す印の制作 漢字の書の作品制作 漢字の書 篆書を知る 隷書を知る 草書を知る 行書を知る 楷書を知る	○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、漢字誕生の国・中国を象徴するような写真や図版を選定しました。[第5号] ○幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、各時代を代表する古典を学習材として選定しました。[第1号] ○幅広い知識と教養を身につけるため、書体の特徴や歴史、能書と呼ばれる人物について深く学習することができる内容を設定しました。[第1号] ○伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、写経や造像記など、祈りの心について学習することができる単元を設定しました。[第5号] ○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号] ○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、身の回りの書を観察し、その意義について考えられるようにしました。[第3号]	p.6-31 p.010-063
書 I プライマリーブック 書 I	仮名の書 仮名の基本用筆 連綿 平仮名 蓬萊切 高野切古今和歌集〈第三種〉 仮名の書 仮名を知る 古筆を知る 文字を見る 行を見る 現存最古の古今和歌集 紙面を見る	○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、仮名と日本の言葉の関わりを示しました。[第5号] ○幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うために、姿勢・執筆法などの知識や技能を単元の冒頭に設定しました。[第1号] ○幅広い知識と教養を身につけるため、平安時代の文学と仮名の関係について、深く学習することができるようにしました。[第1号] ○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]	p.32-37 p.064-079

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に示す、「豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養う」ために、以下の点について編修上の工夫をしました。

○表現と鑑賞それぞれの学習を充実させる『書Ⅰ』と『書Ⅰプライマリーブック』の二冊構成

鑑賞の学習に軸をおいた『書Ⅰ』と、表現の学習に軸をおいた『書Ⅰプライマリーブック』を同時に活用しながら学習を進めることで、視野が広がり、書に関する知識や技能の向上につながります。

○書の作品を際立たせるゴシック体フォントの活用

肉筆や拓本で示す書の古典の印象を際立たせるため、タイトルや本文の書体をゴシック体で統一し、すっきりとした紙面を実現しました。

○明るく見やすい紙面レイアウト

判型は「A4」を採用し、古典の図版をゆったりと原寸大で掲載したり、レイアウトに適度な余白を持たせることで、すっきりと明るく見やすい紙面になるように工夫しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102 - 281	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 702 書 I 703	書 I 書 I プライマリーブック		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- ①基本的な書の知識・基礎的な書の技能の習得と、確実な定着を図ります。
- ②表現と鑑賞の両面から、書の伝統と文化について理解を深められる構成です。
- ③芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養い、コミュニケーション能力を育成します。
- ④リアリティのある内容が、身の回りの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成します。

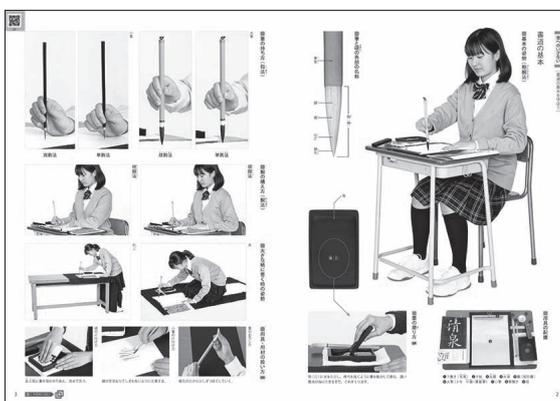
●構成と配列

鑑賞に軸をおいた『書 I』と、基礎・基本の学習と表現に軸をおいた『書 I プライマリーブック』の二冊による構成「書写から書道への導入・漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書」すべての領域において、表現と鑑賞双方向の学習が可能なように、二分冊それぞれの単元を構成しました。

書へのいざない



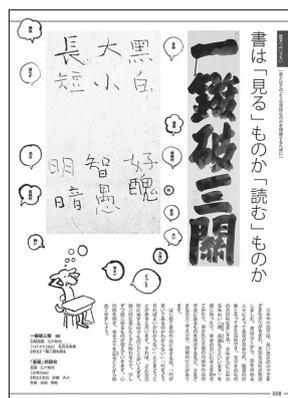
書 I p.006-007



書 I プライマリーブック p.2-3

中学書写の内容を確認し、書道 I の学習の見通しを立て、基礎・基本を学ぶ導入領域「書へのいざない」を、二冊それぞれの巻頭に用意しました。また、随所に QR コードを掲載し、動画によるわかりやすく効果的な学習に配慮しました。

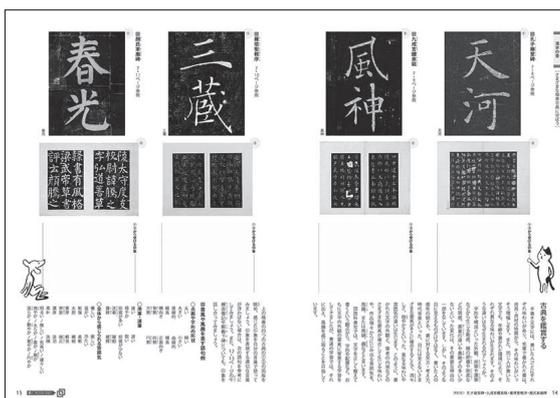
鑑賞へのいざない



書 I p.008



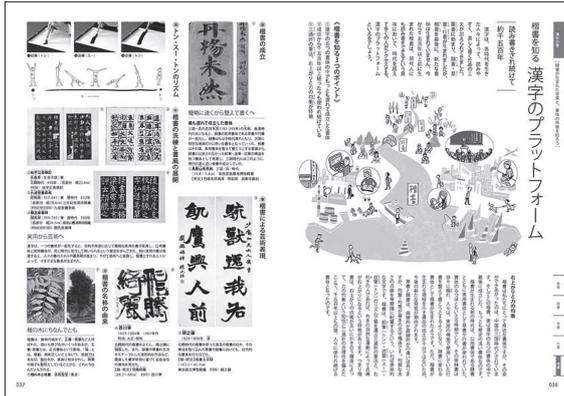
書 I p.088



書 I プライマリーブック p.14-15

『書 I』では、書とはどのような芸術なのかを理解するための導入として、まずは書きぶりを辿ることから始めてみようとし、『書 I プライマリーブック』では、書風や風趣を理解するための比較鑑賞を展開しています。

漢字の書



書 I p.036-037 「楷書を知る」

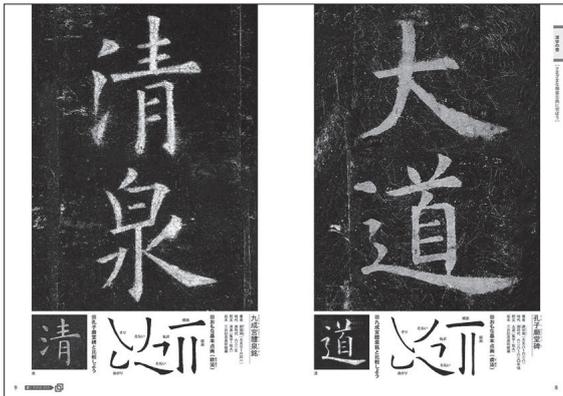


書 I プライマリーブック p.6-7

各書体の特徴や変遷について、『書 I』の漢字の領域冒頭ページで、イラストとともにわかりやすく紹介しています。特に楷書・行書は、書道 I の中心となる学習内容であるため、原寸大図版や拡大図版、折込による全拓や全景の掲載に加え、図版を補完するわかりやすい解説を各冊それぞれに付しました。また、表現と鑑賞の両面から各古典にアプローチできるように、鮮明で臨場感のある図版に配慮しています。

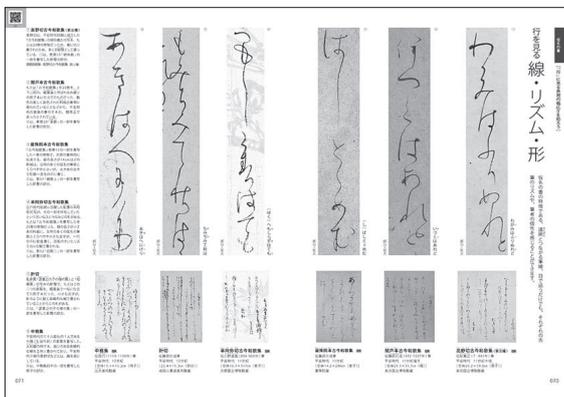


書 I p.052-053 「九成宮醴泉銘」

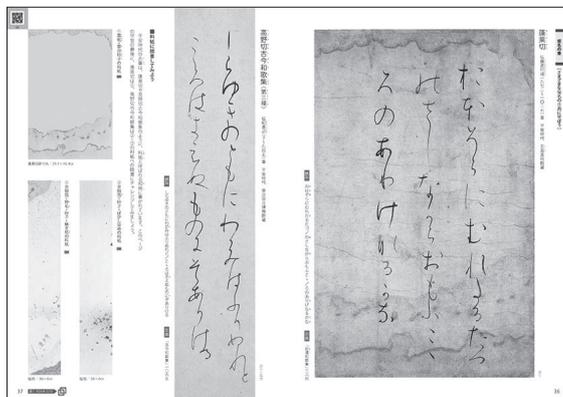


書 I プライマリーブック p.8-9

仮名の書



書 I p.070-071



書 I プライマリーブック p.36-37

古筆を見る視点を、文字・行・紙面という順序で明確にしながら学習を展開しています。『書 I プライマリーブック』では、臨書学習の仕上げとして、料紙に書くことに挑戦できるように、QRコードから蓬莱切の雲紙や、短冊用の料紙が印刷できます。

資料編



書 I p.102-103



書 I p.106-107

『書 I』の巻末には、姿勢・執筆法や用具・用材を始め、篆刻・刻字、臨書から創作へ、碑と拓本、書の鑑賞形式、書道史略年表ほか、生活の中の書、書道用語集など、書と周辺文化の幅広い学習に配慮しています。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所	配当 時数
		A表現	B鑑賞	共通事項	内容の取扱い		
書 I	書へのいざない 漢字と仮名で表す 言葉を書く	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) (ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)(10)(11)	p.004-007	
書 I プライマ リーブック	書へのいざない 書写から書道へ 古典に基づく学習	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)				p.2-5	
書 I	鑑賞へのいざない 書は「見る」ものか「読む」ものか	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)				p.008	
書 I	見る・感じる・知る 書 漢字の書 篆書を知る 漢字の夜明け 隸書を知る 直線化と波勢の誕生 草書を知る 省略の極み	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(イ)(ウ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(9)(10)	p.009 p.010-015	
書 I プライマ リーブック	真草千字文 曹全碑 泰山刻石	(2)ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(9)	p.24-29	
書 I	行書を知る 次へとつなげる気持ち 王羲之の書はどのようにつたわったのか 蘭亭序の魅力 唐の文化の吸収と日本の書の芽生え 文化の国風化と日本独自の書の確立 紙面にあふれる顔真卿の思い 詩を自書して心情を表現	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)(10)	p.016-035	
書 I プライマ リーブック	さまざまな行書古典 集王聖教序 争坐位文稿 神龍半印本蘭亭序 風信帖	(2)ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)	p.18-23	
書 I	楷書を知る 漢字のプラットフォーム 仏龕に力強くより添う龍門造像記 鄭道昭が山々に残した野外芸術 南北の融合により洗練を極めた隋・唐の書 小さな楷書の世界	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)(10)	p.036-063	
書 I プライマ リーブック	さまざまな楷書古典 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭義下碑 古典を鑑賞する 隅寺心経	(2)ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)	p.6-17	
書 I	仮名の書 仮名を知る 和の言葉を表す文字 古筆を知る 王朝文化へのあこがれ 文字を見る 仮名文字の姿 行を見る 線・リズム・形 現存最古の古今和歌集 紙面を見る 連なる行の美 紙面を見る 小さな紙に舞う散らし書き の美	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)(10)	p.064-079	

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所	配当 時数
		A 表現	B 鑑賞	共通事項	内容の取扱い		
書 I プライマ リーブック	仮名の書 仮名の基本用筆 連綿 平仮名 蓬萊切 高野切古今和歌集〈第三種〉	(3)ア(ア) イ(ア)(イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)	p.32-37	
書 I	漢字仮名交じりの書 漢字仮名交じりの書を知る 読みやすさと 美しさの両立 漢字と仮名の調和 空間に遊ぶ言葉 自分自身の表現を求めて	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(7)(8) (9)(10)(11)	p.080-087	
書 I プライマ リーブック	漢字の書の作品制作	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(9) (10)(11)	p.38-39	
書 I プライマ リーブック	仮名の書の作品制作	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(9) (10)(11)	p.40-41	
書 I プライマ リーブック	漢字仮名交じりの書の作品制作	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(7)(9) (10)(11)	p.42-45	
書 I	鑑賞へのいざない 私と書とのこれから		(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)		(10)	p.088	
書 I	資料 書の文化 書道の基本 用具・用材 臨書から創作へ	(1)イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (2)イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (3)イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ		p.089 p.090-097	
書 I 書 I プライマ リーブック	篆刻・刻字 朱と白の小宇宙 自分を表す印の制作	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(6)	p.098-101 p.30-31	
書 I	碑と拓本 書の鑑賞形式		(1)ア(ア)(イ) イ(イ)(エ)		(10)	p.102-105	
書 I	日本と中国の書道史略年表 書道用語集		(1)ア(ア)(イ) イ(イ)(ウ)(エ)		(10)	p.106-111 p.116-119	
書 I 書 I プライマ リーブック	生活の中の書 心を込めて書く 生活の中の書 自分らしく書く 生活の中の書 はがき・手紙の書式	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)(イ)	(1)アイ	(7)	p.112-115 p.46	
書 I 書 I プライマ リーブック	書を收藏する日本のおもな美術館・博物館 中国・日本書道史 関係地・資料参考地図		(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(エ)		(10)	p.120-121 p.48-49	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102 - 281	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 702 書 I 703	書 I 書 I プライマリーブック		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 0)